

中学生議会（旧こども議会）について



中学生議会（旧こども議会）の概要

21世紀を担う子どもたちが、身近な市政や市議会についての仕組みや役割を学ぶとともに、子どもたちに意見を発表できる機会を提供し、市民意識の高揚を図ることを目的として、平成14年から隔年で開催

※平成28年度まで「こども議会」として開催していたが、平成30年度からは「中学生議会」と名称変更

第5次総合計画期間中（平成22年～平成30年）実施一覧

実施年	参加者	テーマ
平成22年	市内小学5、6年生 30名	『共生のまちづくり』『公園』『安全・安心』『緑豊かなまちづくり』『ごみ問題』
平成24年	市内小学5、6年生 27名	『教育・文化』『まちづくり』『福祉』『安全・安心』『環境問題』
平成26年	市内中学1～3年生 22名	『教育』『まちづくり』『福祉』『環境』
平成28年	市内中学2、3年生 22名	『教育』『まちづくり』『福祉』『環境』
平成30年	市内中学生2、3年生 21名	『教育』『まちづくり』『福祉』『シティプロモーション』

教育分野での意見

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
教育と文化について	<ul style="list-style-type: none"> ・門真の文化が分からない。 ・門真の歴史が分かりにくく、周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を知るために図書館がもっとあるべき、門真の文化についての本があったらいいのではないかな。 ・門真の歴史をもっとアピールしていけばよい。 	平成24年
英語教育について	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の必要性が高まり、経済の中心国や世界の国々の多くが英語を使い、英語の需要が高くなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市では英語のプレゼンテーションコンテストで入賞した中学生が海外へ留学するという事が行われているが、対象が中学1年、2年と狭いので、広げてみてはどうか。 ・一般向けの国際的な行事がより増やせばどうか。例えば、海外留学だけではなく、門真市に住んでいる外国人と地域住民との交流する行事を増やす。 	平成26年
図書館施設の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の使用で不便に感じる人が多い。例えば、本の場所が分かりにくく、見つけるのに時間がかかる。また、本を読もうと思ったら席が空いていない、通路がせまくて通りにくい。 ・利用者に若い人が少ない。図書館に行かなくても本で調べなくても、パソコンやケータイで、簡単に調べることができるためである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にCD、DVDを見る部屋を設けたり、年齢に応じた本に分けたりすればよいのではないかな。 ・勉強会を開いたり、休みの日などに長く勉強できるように飲食スペースを作ったり、わからないことを調べるためにパソコンを増やし、自習室をより良くしていくのはどうか。 	平成26年
市立総合体育館について	<ul style="list-style-type: none"> ・市立総合体育館が新しくできるので、興味がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立総合体育館を活用して、たくさんの方が交流できるイベントを開催すればよいのではないかな。 	平成28年
歴史資料館について	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市の歴史探究のイベントを開催しているが、中学生に対して認知が低く、ほとんど周知されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなイベントがあることは、生徒にも知らせていくべき。 	平成28年
学校の取組や授業の工夫について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に通学するにあたり、体が不自由で車いすを使用している人は、移動が大変であったり、外国人は言語の壁がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な子ども達が学校に通うための工夫が必要。 ・どんな人でも楽しめるような学校をつくる必要がある。 	平成28年
勉強について	<ul style="list-style-type: none"> 勉強が分からない人がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強が分からない人でも、分かりやすく、楽しく授業に参加できるようにする必要がある。 	平成28年
子どもたちの教育環境づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市の学力が他の市町村と比較して、低いと感じている。その原因として、門真市の教育環境が悪いと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強できる環境及び息抜きの両方が整った教育環境が必要である。(新設した総合体育館を活用する等。) 	平成30年
学校における人間関係、特にいじめの問題について	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題への対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業でいじめについての内容を取り上げる。(人との付き合い方、いじめの減らし方、他人を尊重する考え方等) ・SNSを活用したいじめ相談の窓口を設置する。 	平成30年
小学校・中学校における授業について	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のために「わかる」を発見し、「楽しい」と思える授業に改善する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書や教材の削減、授業効率の改善を目的としたICTの活用を行う。また、ICTを早段階で身に付けることで、今後の情報化に対応した学生の育成に貢献。 ・ある課題をグループで協力し解決することで協調性や社会性を身に付ける授業や少人数制の授業を増やし、子どもと先生が関わる時間を増やすことも必要である。 	平成30年

まちづくり分野での意見(1/2)

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
共生の町づくりについて	・いろいろな立場の人が住んでいる。	・門真市が、全ての人がなかよく、楽しくらせるようなまちになるようにしてほしい。	平成22年
市が主体のイベントについて	・まちづくりには、イメージが良くなったり、人と人が仲良くなる必要がある。	・昔行っていた「門真まつり」を再び開催して欲しい。 ・祭りには外国人向けの屋台や門真レンコンを使った屋台を出店したらどうか。	平成28年
公園について	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が狭く、思いっきり走ったり、ボールで遊ぶことができる公園が少ない。 ・公園で水が飲めない。 ・公園に行く時に、犬のフンや放置自転車が多く、安心して移動することができない。また、歩道が狭いところやガードレールのない道路が多い。 ・遊具が安全なものかどうか不安になるところもある。 ・木が多すぎて、周りからの様子が見えず、痴漢などの被害に合ってしまう可能性がある。 ・公園にトイレがない所がとて多く不便。 ・公園にゴミ箱がないため、ポイ捨てが増え、ゴミが散乱している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に集まってきたいろいろな人がそれぞれ安心して遊んだりくつろいだりできるように、ゆっくり座ることができるベンチやそれぞれが安心して遊べるようにフェンスを設置する。 ・公園の遊具に説明をつける。 ・公園のゴミ箱を増やす。または、ゴミを持ち帰るようにする。 ・暑さをしのぐための屋根や囲いがついた休憩所を造ったらいい。 ・公園だけでなく、その周りの道路についても、きれいにしていく。 ・公園に色をぬったり、記号を使ったりして、小さい子どもやお年寄り、門真に住んでいる外国人の方にも見てすぐわかるような地図を作ればいい。 ・災害時に学校より近い公園に避難した方がいい場合もあるので、必要な防災グッズなどを設置すればよい。 ・花などで心がいやされる公園や散歩の途中などに休憩をしながら気持ちよく過ごせるような公園をつくる。 ・見晴らしの良い公園や遊具を安全に使えるような公園をつくる。 ・のびのびとボール遊びができる大きい公園を整備して欲しい。 ・トイレやゴミ箱がないので、トイレ及びゴミ箱を整備して欲しい。 	平成22年 平成24年 平成26年 平成28年

まちづくり分野での意見(2/2)

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
安全・安心なまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・違法駐輪が多い。 ・街灯が暗い。 ・ガードレール、カーブミラーなどが壊れているところがある。 ・カーブミラーが目立たないところにあることがある。 ・道の真ん中に電柱がある。 ・道路に段差がある。 ・交通ルールを無視して自転車を運転する人がいる。 ・夜、ライトをつけずに結構なスピードで自転車に乗っている人がいる。 ・公園で危険な遊びをしている人や、女の子に声をかける不審者がいたり、中学生・高校生が喫煙している姿をよく見かける。 ・痴漢やひったくりが多い。 ・コンビニの前でたむろしている中学生・高校生がいる。 ・幅が狭い道がある。 ・交通が不便な地域がある。 ・歩道がないところがある。 ・自転車に乗りながら、イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作している人が多く、危険である。 ・災害時の対応で避難場所等の方針や行動が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯を点検し修理するとともに、街灯をもっと多くつける。 ・防犯カメラを多くの場所に設置する。 ・人通りの少ない場所を少なくする。 ・ルールを守るように促す必要がある。 ・社会全体が明るくなるような行事や催しなどを積極的に行っていく。 ・カーブミラーが必要な場所を確認して付けていく、あるいは修理していく。 ・警察のパトロールを増やす。 ・ひったくり防止カバーをみんな付けるようにする。 ・大人や先生がもっと注意する。大人が手本を見せる。 ・子どもたちや、高齢者が過ごしやすいような便利なまちになって欲しい。 ・子どもや高齢者、障がいをお持ちの人など、安全に安心して道路を利用できるよう、歩道がないところには歩道をつけていただき、歩道はあるけど狭いところでは広くして欲しい。 ・痴漢や万引きなどの対策に防犯カメラの設置を増やしたり、私服警官など防犯パトロールを増やしてはどうか。 ・門真から事故を減らすために、イメージキャラクターであるガラスケを看板などで活用してはどうか。 ・標識や信号機がない交差点の整備。 ・自転車に対して交通ルールを学ぶ機会を増やす。 ・防災意識の向上として、こどもからお年寄りまで学ぶことができる防災教室の開催が必要ではないか。 	<p>平成22年 平成24年 平成26年 平成28年 平成30年</p>
緑について	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が少ない町である。 ・町の色はねずみ色とか黒っぽい色が多く、植物の緑色は隣の小学校や公園などに、少しずつしかない。 ・車がたくさん通っていて、道の近くは排気ガスが多そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の屋上に緑を植えたり、グラウンドや公園を芝生にしたりして、町をおおっているコンクリートの上に植物でおおう。 ・自分の家や学校で、花や植物を育てるようにする。 ・自由に参加できる、植物を植える活動やイベントを企画する。 	<p>平成22年</p>
河川や水路の環境対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市の河川や水路がかなり汚染されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川の汚れの原因となる『チツソ』や『リン』などを吸収する植物を川の近くに植えることや川の中に砂利を敷くことで、水をろ過する効果を高めて浄水場の負担を軽減する方法が考えられる。 	<p>平成30年</p>

福祉分野での意見(1/2)

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
身体の不自由な方に対して関心と理解をもつことについて	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の不自由な方に対して、お手伝いをしたいが、どのように接すればよいかわからない。 ・安全に暮らせる町にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことで困っているのか、どのようなお手伝いをしたいのかを学ぶ機会や身体の不自由な方のことを知る機会として、誰でもが気軽に参加できる身体の不自由な方を中心としたイベントや公開講座を企画し、関心と理解を深めるのはどうか。 	<p>平成24年 平成30年</p>
福祉の立場から見た市内の安全について	<ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックが少ない。 ・身体障がい者や高齢者の方々には道がデコボコしていて車イスが進みにくかったり、手動の車イスが道路を渡り切れなかったり、階段の段差が高くて、登りきれない。 ・道が交差する所で自転車に乗っている人が、ベビーカーや車イスの人に気づかず接触し、ケガをしてしまうことがある。 ・駅前での放置自転車が多く、体が不自由な方には移動が大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の段差やデコボコを減らし、道を舗装する。 ・目の不自由な方も安全で外で歩けるように点字ブロックを増やすのはどうか。(駅や大型ショッピングセンター、バス停などの誰でも使う場所に点字ブロックを増やす。) ・車イスの人やベビーカーの人でも通りやすいように段差をなくす。駅などの階段は近くにスロープと手すりを取り付ける。 ・目の見えない人のために大きな道路や事故の多い危険な道の信号に音が出る装置を取り付ける。 ・放置自転車は多い所を重点的に看板やポスターをはって呼びかけをする。 ・ベビーカーや車イスに気がついた時や角をまがる時、ベルをならすように条例で取り締まる。 ・放置自転車をなくすために街中に自転車貸し出し拠点を設置し、どこかの貸し出し拠点でも、自転車を借りたり、返したりできる「コミュニティサイクル」を取り入れてはどうか。 	<p>平成26年 平成28年 平成30年</p>
高齢者の就労推進と働く母親の支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限があったり、資格がないとできないものが多く、働ける時間に制限があったり、期限があったりと思うような仕事を見つけにくい。 ・子育て中の母親は一人にできないので仕事に行きにくく、働きづらい環境である。 ・仕事が多忙で自分の生活がままならない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の方は、高齢者の力を借り、活躍していただくとよい。 ・仕事が多い人の仕事について、仕事をしたいと思っている人に分ければいいのか。 ・資格を持っている人を中心にその人を取り巻く仕事の一つひとつを細分化していけばいいのではないか。その中で資格がなくてもできる仕事などを、もっと働きたいと思っている高齢者の人に任せたらいいのでは。 	<p>平成26年</p>
高齢者と子どもの関わりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生と高齢者の関わる機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が体験談などの話をする中で、小中学生が興味を持ち、これからの門真について、考えることができる環境にも繋がるのでは。 ・中学校で『あいさつ運動』を行っているのと同様に、地域で何かイベントなどを行うことで関わりを増やすことで、地域の活性化に繋がるのでは。 	<p>平成30年</p>

福祉分野での意見(2/2)

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
学校施設の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・地震などの自然災害がおきた時、避難所になるのは学校だが、設備が整っていない場合が多い。(特に体育館の周りの段差や階段、トイレでバリアフリー化が進んでいない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差や階段の近くは スロープと手すりを取り付け、バリアフリーのトイレを増やす。 	平成26年
地域社会の交流について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の交流が不足しているので、孤独死が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の交流を深めるために、小さな子どもや、高齢者、障がいのある方々も参加しやすいイベントがあればよい。 ・旧第6中学校の運動場や体育館などを利用し、バザーや音楽、スポーツなどといったイベントをすれば、みんなが参加しやすいのでは。 	平成28年
こどもの安心・安全な居場所づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブについて、児童福祉法の改正により対象年齢が拡充されたが、高学年の児童が勉強する時間に低学年の児童が遊んでいるため、現状としては勉強に集中できない環境がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室を増やすなど、高学年をふくむ全児童が充実して過ごせる場所としての対策が必要。 ・障がいを持っている子どもが快適に過ごせる居場所や、いじめなど様々な理由で、学校に行きづらくなっている子ども達のための居場所があれば、みんな勉強がしやすくなるのでは。 ・学校以外でも子どもたちにとっての、安心・安全な居場所づくりが必要では。 	平成28年
災害時の高齢者等の安否確認について	<ul style="list-style-type: none"> ・6月18日に発生した大阪北部地震や7月の豪雨などの自然災害が、最近目立っています。各地域でも混乱状態に陥った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所毎にグループをつくり、そのグループ内の連絡網の構築してはどうか。 	平成30年
健康について	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が検診を受けることができる体制が整っていない。 ・健康に関心な人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断について、幅広い人が検診できる体制を整えてほしい。 ・多くの人が健康に関心を持てる取組を検討してほしい。 	平成30年

環境分野での意見(1/2)

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
ごみ問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・落ちているゴミが多い。道路にタバコの吸殻やガム、ペットの糞、お菓子の袋が落ち、花火など遊んだ後、袋に入れられているゴミが道路に散らばっていることもあり、夏の暑さで、においを放っている。 ・ゴミのポイ捨てが多い。 ・川にはゴミがたくさん捨てられており、自転車やバイクも捨てられている。 ・公園やバス停にもゴミがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが意識し、一人ひとりが協力する。短くなった鉛筆にはキャップを付けて長く使えるようにし、道にゴミを増やさないように、お菓子のゴミなど、近くにゴミ箱がない時は、持ち帰るようにする。 ・友だちがポイ捨てしようとしたら注意する。ペットを飼っている人は、飼い主として責任を持って後始末をさせる ・公園や信号の近く、バス停にゴミ箱を設置し、家でもごみの分別をしたり、ごみはゴミ箱に捨てるよう心がける。 ・清掃ボランティアの活用をして、今よりもっと呼びかけをしてみたり、ポスターなどを増やしてみたりしたらいいのではないか。 ・定期的なクリーンアップ活動を行っているが、ゴミ拾いだけではポイ捨ては減らないので、市民全体で取組めるイベントを開催するのはどうか。 	<p>平成22年 平成24年 平成26年 平成28年</p>
学校と地域での集団回収の奨励について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生徒会活動で、壊れたウォータークーラーを皆で買い換えようと、古紙回収を取り組んでいる。市内で、もっと集団回収を行えば、ごみの意識が高まり、地域の人とも交流できるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市とコンビニエンスストアが協力し、空き缶やペットボトルを持って行ったら、何蓮かが返ってくるようにしたらいいのではないか。 ・私たちも学校を通じて、地域の人たちと集団回収に参加して、みんなの意識を高めたいので、奨励してはどうか。 	<p>平成26年</p>

環境分野での意見(2/2)

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
電線の地下化について	・電線が多すぎる。	・電線を地下に通すことで、空が見えやすくなるので門真市が明るくなる。	平成26年
受動喫煙について	・たばこの吸い殻も多く、受動喫煙の被害も多い。	・喫煙禁止条例を定めることで、受動喫煙を減らしたらいい。	平成26年
鳥獣被害(カラス)について	・家庭用のゴミ袋をカラスがつつき、ゴミ捨て場にゴミが散乱している箇所が多い。 ・タバコのゴミも多い。	・一つひとつのゴミの場所に青いネットを設置したら少しは、カラスの被害を受けずにすむのではないかと。 ・タバコのゴミなども簡単に道路に捨てないように呼びかけることも必要。 ・ポスターを貼ったりして少しでも、まちにゴミが多くならないように改善していけたらいいと思う。	平成28年
門真市の水道料金について	・門真市は、浄水場がなく、大阪府から水道水を買っており、水道料金が高い。 ・門真市の水道料金は大阪府43市町村の中で37位であり、他と比較しても高い。	・生活環境の改善や水道料金の削減のために門真市にため池や浄水場を造るのはどうか。そこで、レジャー施設として、釣り堀を造り、利益を浄水場の維持費にまわしてみてもどうか。	平成28年
治安改善について	・細く街灯のない道が多くあり、よく不審者が溜まっている。 ・ひったくりや、自転車の盗難多い。	・自転車の盗みとひったくりに関する対策と合わせて、不審者についても私たちが安心できるよう、効果的な対策が必要	平成28年

その他の分野での意見

質問項目	課題部分	提案部分	実施年
SNSの活用について	<ul style="list-style-type: none"> 『門真レンコン』をたくさんの人に知ってもらい、食べてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用すると良い。 	平成30年
門真レンコン及びクワイのPRについて	<ul style="list-style-type: none"> 門真レンコン及びクワイを門真市に住んでいる人、市外の人に知ってもらう必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントや祭りで『レンコン』や『クワイ』などを料理し、すぐに食べてもらえるようにして、たくさんの訪れた人に、食べてもらえるようにしたい。 市外に住んでいる人に知ってもらうためにSNSを使い、『レンコン』や『クワイ』を使った料理などを広めていけたら良い。 	平成30年
幣原喜重郎のPRについて	<ul style="list-style-type: none"> 門真市を知ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 門真市民全員が門真市出身の内閣総理大臣である幣原喜重郎を知ること、市民からの発信が期待できるのでは。 	平成30年
あいさつ運動と市民同士の繋がりを深められる取組について	<ul style="list-style-type: none"> 門真市に住んでいる人たちが、もっと明るく、楽しく過ごせるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも、『あいさつ』を大切にしていき、一人ひとりが、この門真市に住んでいて良かったと思えるように、門真市全体で、『あいさつ運動』をしていけたら良い 	平成30年